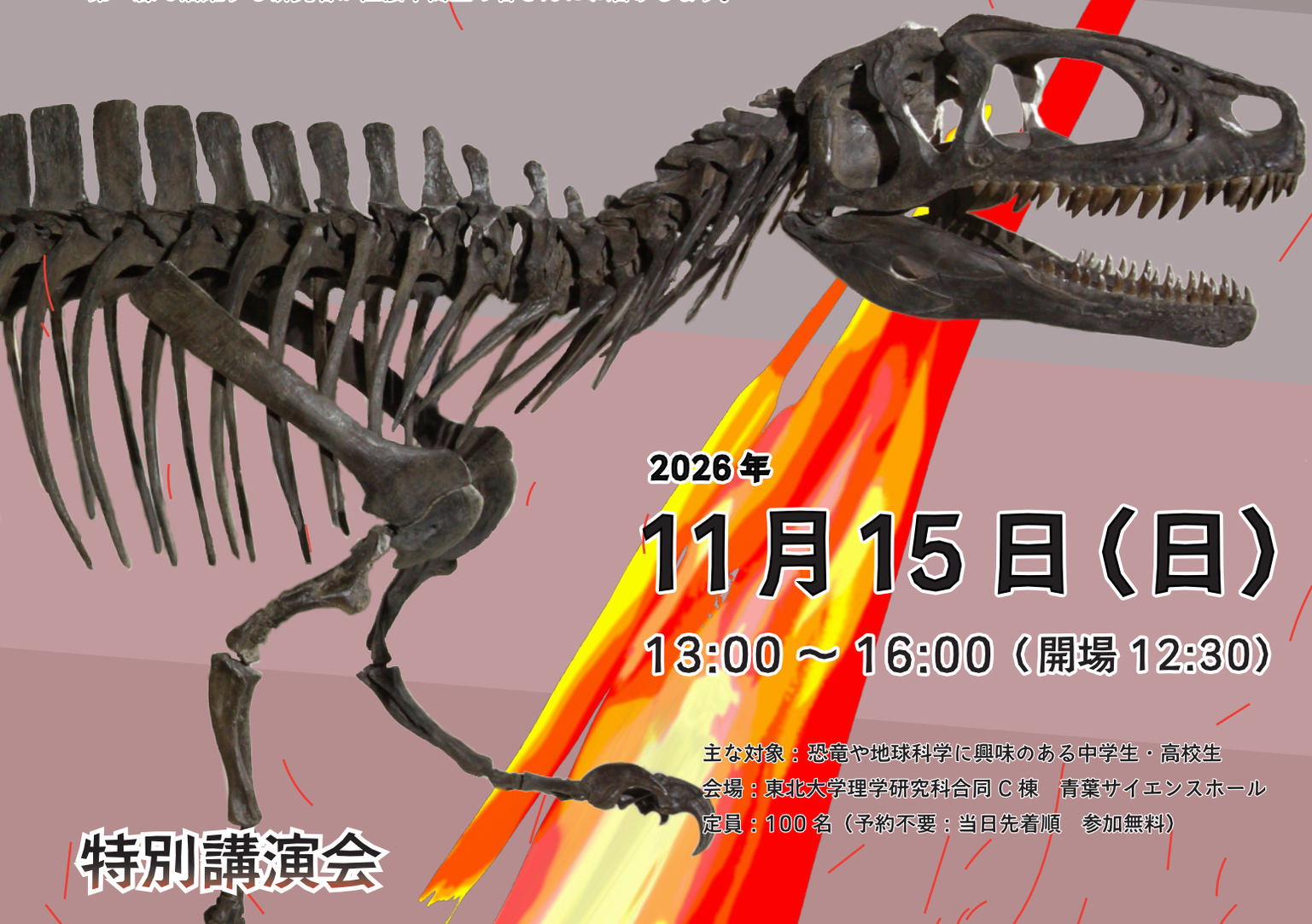
東北大学総合学術博物館 × 福井県立大学恐竜学部

アジア初の「恐竜絶滅を記録した地層（K/Pg 境界層）」の発見や、アジアにおける恐竜発掘の最前線など、ここでしか聞けないリアルな研究現場のお話を、第一線で活躍する研究者が直接中高生の皆さんにお届けします。



2026 年

11 月 15 日（日）

13:00 ～ 16:00（開場 12:30）

主な対象：恐竜や地球科学に興味のある中学生・高校生
会場：東北大学理学研究科合同 C 棟　青葉サイエンスホール
定員：100 名（予約不要：当日先着順　参加無料）

特別講演会

恐竜教室 2026

主催：東北大学学術資源研究公開センター、福井県立大学恐竜学部　共催：新知創造学際ハブ

東北大学学術資源研究公開センター＊と福井県立大学・福井県立恐竜博物館は、これまで長年にわたり恐竜の進化や、恐竜時代の地球環境に関する共同研究・展示を行ってきました。現在も、東北大学の金属材料研究所が中心となっている「新知創造学際ハブ事業」に両機関が参画し、恐竜化石の骨の微細構造を解き明かす最新の共同研究が進められています。この強固なネットワークを活かし、最先端の研究をさらに加速させるため、このたび東北大学学術資源研究公開センター＊と福井県立大学恐竜学部は正式に連携協定を締結しました。本講演会は、この連携協定を記念して開催する特別企画です。

＊学内の資料標本類の保存・活用を目指す共同研究教育施設。史料館・植物園・総合学術博物館の 3 組織からなる。

13:00 ～ 13:10　オープニング

東北大学と福井県立大学のタッグが生み出す最新の共同研究（学際ハブ事業など）についてご紹介します。

13:10 ～ 13:50　講演①「恐竜絶滅の起こった K/Pg 境界と北海道での K/Pg 境界層の発見」　髙嶋 礼詩

2026 年、恐竜絶滅の証拠となる「K/Pg 境界層」をアジアで初めて北海道で発見したプロジェクトリーダーが、世紀の発見に至るまでのドラマを語ります。

13:50 ～ 14:00　休憩

14:00 ～ 15:00　講演②「アジアの恐竜研究最前線（仮題）」　柴田 正輝

東北大学理学研究科で学位を取得し、現在は日本を代表する恐竜研究者として活躍する柴田教授が、国内外でのリアルな恐竜発掘の様子をたっぷりお話しします。

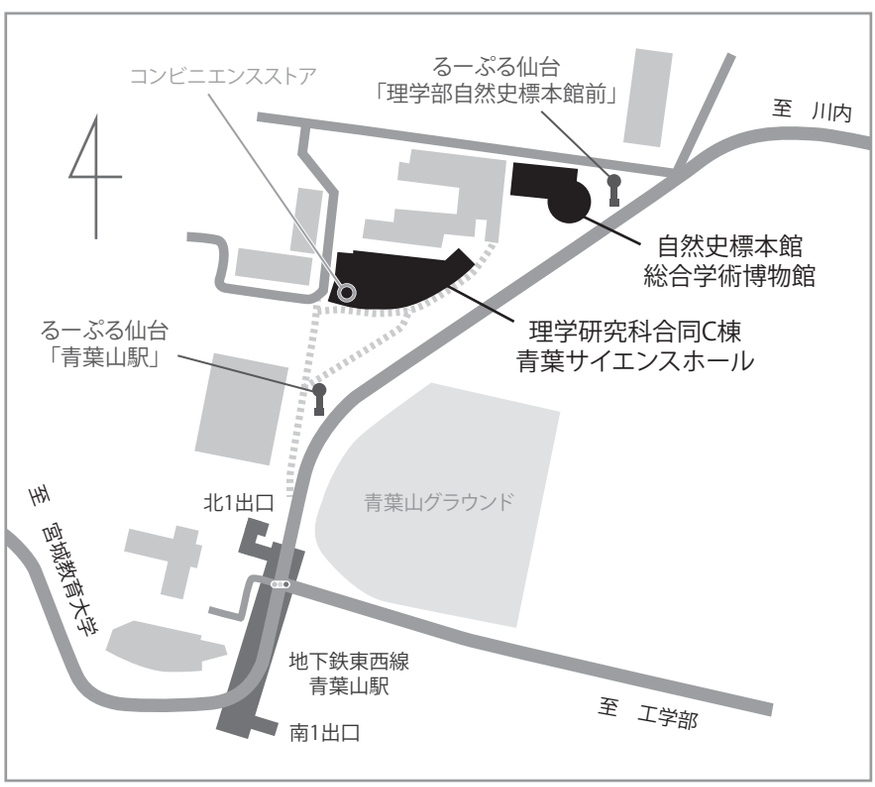
15:00 ～ 15:30　特別解説ツアー

総合学術博物館へ移動し、柴田教授に「フクイラプトル」の展示を解説いただきます。

15:30 ～ 16:00　自由見学・研究者との交流

柴田 正輝
（福井県立大学 恐竜学部教授）
福井県立恐竜博物館主任研究員を併任。専門は恐竜を中心とした古脊椎動物学で、日本・タイ・中国などにおいて恐竜化石発掘調査を行い、特にイグアノドン類を中心に研究している。

髙嶋 礼詩
（東北大学総合学術博物館 館長）
専門は地質学・層序学。主に白亜紀の環境変動について研究し、白亜紀の年代尺度の樹立を目的とした日・米・欧の国際共同研究プロジェクトを主導している。



【仙台市地下鉄東西線をご利用の場合】
「青葉山」駅　北 1 出口から徒歩数分

【るーぷる仙台をご利用の場合】
バス停「青葉山駅」 もしくは
バス停「理学部自然史標本館前」
から徒歩数分

仙台駅前	11:45	12:00	12:15	12:30
	｜	｜	｜	｜
青葉山駅	12:12	12:27	12:42	12:57
理学部自然史標本館前	12:13	12:28	12:43	12:58

特別講演会用の駐車場はございません。
公共交通機関でのご来場にご協力ください。

主催：東北大学学術資源研究公開センター、福井県立大学恐竜学部　共催：新知創造学際ハブ　　問合せ先：東北大学総合学術博物館（TEL/FAX 022-795-6767）